

まごのてグループ 黒帯会議 第41回会議議題

日時：令和7年8月6日（木） 17時～19時

○研修報告書について

グループとしての方針：無駄なものは極力減らしたい

この方針にもとづき、研修報告書について京都市に確認したところ、「要らない。研修に参加したことがわかる資料・議事録等があればOK」との回答を得た。

「個別研修計画書」の書式を変更 → 次回統合開発室会議にて発表予定

○宇治出店ルールについて

現時点での宇治への出店数3件（手続き中含む）、出店希望が3件。

【エビデンス】

	京都市	宇治市
人口	138万人	18万人
訪問系（居宅介護）事業所数	471件	56件
人口当たりの件数	2930人に1件	3200人に1件 (京都市に合わせると61件)
まごのて事業所数	40件	3件
人口当たりのまごのて数	34500人に1件	60000人に1件 (京都市に合わせると5.2件)

上記エビデンスにもとづくなら、宇治市では5件はいけるのではないかと。

同様の計算でいくと、長岡京市（人口8.2万人）なら2.5件。

今後のルールとして、人口3.5万人に対してまごのて事業所1件が妥当ではないか。また、件数の端数に関しては、基本的に切り下げとするが、最終決定は行政区域（京都市は各区）の黒帯事業所の判断、黒帯事業所の無いところはグループの判断により決定とするのはどうか。

○参議院議員選挙について

結果は、斉藤さん得票は54000票。まったく歯が立たなかった。抜本的な立て直しが必要。

○人事考課の考課内容について

・考課項目に、選挙における参政権の行使の有無を入れるかどうか → 次回統合開発室会議にて投げかけてみる

・各種記録について。「必要な記録だけ」を書いているか（＝無駄なことをしていないか）

→ ヘルパーの生産性を高めるための施策。次回考課表に入れる。

一方で、「必要な」記録が何なのか、現場の理解が追いついていない、という指摘も挙がった。

○9月統合開発室に呼ぶ業者について（京都銀行）

これまでのまごのてグループのメインバンクは京都中信であったが、今回植野会長が個人的に融資を受けた際に、京都銀行がかなりお得な条件を提示してくれた。京都銀行は、これを機にグループ各社へ入り込みたいという希望があるので、次回統合開発室会議に京都銀行府庁前支店の次長さんをお招きすることとする。

○統合開発室の場所について（実務者会議より）

実務者会議において、統合開発室について、会議と懇親会の場所をそれぞれ分けて開催して欲しい旨の提議があったが、分ける必要は無く、適宜会議だけで帰るようにすればよい、との結論となった。

また今後は、こうしたこれまでの文化を変えるような提議は、10人以上の署名を集めてから

行うようにすべし、との条件付けも出された。

○「訪問介護等サービス提供体制確保支援事業補助金」について（夕映舎）

夕映舎より、7月28日に京都市より発表された「訪問介護等サービス提供体制確保支援事業補助金」についての案内が行われた。

当補助金は、大きく分けて3つのメニューから成り立つ。

- ①経験年数が1年未満のホームヘルパー等への同行支援
- ②登録ヘルパー等の常勤化の促進の支援
- ③経営改善の支援

詳細については、夕映舎も情報を収集しつつ、案内周知を行っているところではあるが、前提として、事業者さま方にそれらを受け止め、自らの事業に活かそうという姿勢を持っていただくことが肝要であるので、ぜひこの機会に各社お誘い合わせのうえ、ご活用をはかっていたきたい。

○次回日程

令和7年10月29日（水）18時～

※令和7年8月20日～12月6日まで、植野会長がピースボートに乗り込み、世界一周の旅に出られる。男の浪漫。

よって、令和7年10月開催予定の黒帯会議および令和7年9月・11月開催予定の統合開発室会議には、植野会長は欠席される。その間は、堤FC本部長が進行役を務められる。